

# とあるクリエイター ーに出来たタンコ ブ

僕は物づくり男だ。

物づくりは誰か他者に言われたことを謙虚に腰低く  
受けて素直に実行すればいい、というのではない。

自分で真っ白なキャンバスに色とりどりの絵の具で  
美しい絵を描いていかなくてはならない。

顧客に喜んでいただけるように。

それは受容ではなくて能動的な行為だ。

嫌になる時代もあつたりしたが、幸い喜んでいただけ  
る経験があつて続けている。

僕の作ったものに呼応して返ってくる喜びの声が、モ

チバージョンなのだ。

だけどちなみに、自分だけのオリジナルなんて存在しないらしいのだけどね。

生まれた時は何も持たなかった俺たち。

つまりは自分の独自性って、結局誰かに与えられたものをなぞらっているだけってことだ。

物書きなら文字、文章の断片全てに言えることだと思う。

クリエイターも従順な受容行為って考え方もまああるよね。

つまりはインプット、受けたものから読者への中間管理職、橋渡し。

そう思えばまた変わってくるのかも・・・・・・・・とか思う。

職業病でいろいろあって、小さなタンコブが右手首に出来たことがある。

ちなみに左手首はスマホの触りすぎで今、腱鞘炎だけど・・・・・・・・笑。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。  
した。